

伯耆の国 基本理念
「個々の生活観を尊重し、
豊かな心と安心・信頼の
地域づくりを目指して」

けやき



さくら保育園：年長組(さくら組)ガイナーレのサッカー教室



つくし保育園：近隣宅の動物を見に行きました。

西伯デイサービスセンターしあわせ

桜の花が散り新緑がきれいになってきた季節。デイサービスしあわせにも新緑とあじさいが咲きました。「上手く出来るか分からんじえ」「私に出来るだーか」と言いながら丁寧に折って下さいました。



展示したアジサイを見て「綺麗に咲いたね～」「私の方が綺麗じゃないか」「ここで話すと楽しいですわ」と笑顔が咲いています。



デイサービスセンターゆうらく

コロナウィルス感染対策を図り、花回廊や伯太町にドライブに出掛けました。



暖かい春の日差しを浴びながら咲き乱れているチューリップに利用者様の笑顔もいっぱいでした。

コロナウィルス感染予防を徹底し、今年度も季節感を感じてもらえる活動を行っています。

会見デイサービスセンターいこい荘

いこい荘では季節の花をテーマにした壁画作りをしています。今回はカーネーション、あじさい、藤の花を作成しました。



訪問介護事業所

在宅生活継続の利用者へ安定したサービスを提供するため、情報共有、課題検討等毎月ミーティングを行っています。雪や雨の悪天候の日もありますが、ヘルパー支援を待ってられる利用者のご自宅へ伺いサービス提供をしています。



南部居宅介護支援事業所

南部居宅介護支援事業所のケアマネジャー7名です。総合福祉センターいこい荘内に事務所があります。昨年度と同じメンバーで新年度スタートしました。よろしくお願いします。



令和3年度社会福祉法人伯耆の国の始動に向けて



理事長 山野 良夫

令和3年度の伯耆の国サービスの始動に向け、法人を代表し一言ご挨拶申し上げます。

ご理解・ご支援を賜り、役職員一同厚く感謝と御礼を申し上げます。

さて、本年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス及び同変異種の拡大により、感染予防の一層の強化が求められております。

この1年間の感染予防対策のため、施設・在宅・保育の現場の風景も、マスクの着用をはじめ手指消毒・体温測定等、サービス現場の風景も大きく変わって参りました。

施設の面会の制限や、介護・保育現場等での各種行事の中止や縮小が余儀なくされており、ご利用者・ご家族の皆様には、多大なご迷惑・ご不自由をおかけしていることを誠に申し訳なく感じております。関係各位のご理解・ご協力により、法人内での感染事例は発生しておりませんが、今後もクラスターの発生予防はじめ、感染防止に向け徹底した予防を心がけて参りますので、今しばらくの間ご理解・ご協力をお願いいたします。

伯耆の国のサービスは、介護保険サービスを中心に、保育サービスや地域共生社会実現拠点施設(いこいの郷等の充実)に努めて参りました。特にいこいの郷につきましては、この3年間の活動の中で11名の卒業・就労に繋がることができました。その数としては大きな数ではないものの、引きこもり者等の社会参加に繋がった意義は大なるものがあると確信しています。併せて、いこいの郷では中山間地域の活性化や小規模農業の支援、地域特産品等の開発等も、設置目的の1つでもありました。町(含国・県)に提出してある計画数値(販売額)を達成できたことも、関係各位の努力と協力の賜と心から御礼申し上げます。

また、いこいの郷運営にあたりましては、町内社会福祉法人が連携を図ることにより、その事業効果をより一層発揮することができ、将来に向けて新たな光を見出すことができたように思われます。今後もこの繋がりを一層強固なものにしつつ、行政・医療・地域住民等との連携を図り、皆が住み易い地域づくりに運動させ、皆で作る地域包括ケアシステム構築を目指していく覚悟で、今後も「地域づくり」に邁進したく考えております。

伯耆の国では、18年間の介護保険サービスや、10年間の保育園運営の実績とノウハウをベースとし、今後地域住民のニーズが求まるであろう多様性にも対応し、中山間地域の社会福祉法人として、その存在意義を常に自問自答しつつ、地域社会に必要な各種事業を積極的に検討してまいります。

今年度に入り、入居者や一部の職員にはコロナワクチン接種が実施されたものの、未接種の職員や一般住民全員の接種にはまだ時間がかかりそうです。今年度も、新型コロナウイルス感染のリスクを抱えながらの事業展開が求められます。安心・安全な各種サービスの提供を念頭に置きつつ、新たな課題の発掘とその解消に向けた取り組みを進める所存でございます。地域住民の皆様には、今年度も伯耆の国が提供する各種サービスへの絶大なるご指示・ご支援をお願いし、年度初めのご挨拶といたします。

特養ゆうらく

入居者の方のこれまで培われた知識と経験をお聞きして職員と一緒に季節の野菜を栽培しています。収穫した白菜で漬物、大根でおでん、出来た豆で豆ごはんを作り味わって頂いています。



グループホームおちあい

さくらんぼの収穫、ブルーベリーの苗木植えをしました。実るのを楽しみに、毎日眺めています。



新型コロナワクチン接種

特養ゆうらく、グループホームおちあいでは、入居者全員と職員の一部にワクチン接種を行いました。ワクチンが用意され次第、未接種職員へのワクチン接種を進めていく予定です。



新人職員紹介

法人本部



青木 泰彦

経理課長として4月1日より、お世話になることとなりました。不慣れな点でご迷惑をおかけすることが多いと思います。利用者の方が安心・安全で快適に過ごされるようにスムーズな対応を心掛けていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

特養ゆうらく



荒川 カ斗

4月から橘ユニットに配属になりました、荒川力斗です。

国家資格の介護福祉士を取れるように目指していきます。いつでも明るく仕事ができるように頑張ります。

令和2年度

社会福祉法人伯耆の国決算報告

貸借対照表

(単位:千円)

	金額
流動資産	219,563
固定資産	2,003,628
資産合計	2,223,191
流動負債	183,780
固定負債	271,328
純資産	1,768,083
負債及び純資産合計	2,223,191

事業活動計算書

(単位:千円)

勘定科目	金額
【サービス活動増減の部】	
・サービス活動収益計 ①	1,006,509
事業収益	1,006,304
寄附金収益	205
・サービス活動費用計 ②	1,022,133
人件費	775,528
事業費・事務費	211,412
利用者負担軽減額	720
減価償却費	103,894
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 69,421
サービス活動増減差額 ③=①-②	△ 15,624
【サービス活動外増減の部】	
・サービス活動外収益計 ④	10,336
・サービス活動外費用計 ⑤	9,345
サービス活動外増減差額 ⑥=④-⑤	991
経常増減差額 ⑦=③+⑥	△ 14,633
【特別増減の部】	
・特別収益計 ⑧	1,769
・特別費用計 ⑨	2,906
特別増減差額 ⑩=⑧-⑨	△ 1,137
当期活動増減差額 ⑪=⑦+⑩	△ 15,770
【繰越活動増減差額の部】	
・前期繰越活動増減差額 ⑫	459,352
・当期末繰越活動増減差額 ⑬=⑪+⑫	443,582
・その他の積立金取崩額 ⑭	
・その他の積立金積立額 ⑮	
・次期繰越活動増減差額 ⑯=⑬+⑭-⑮	443,582

※端数処理の関係で合計が一致しない箇所があります。

ご寄付 ありがとうございました

山野 良夫 様 金一封
福見 浩 様 金一封

お知らせ
伯耆の国のホームページが新しくなりました。ぜひ一度ご覧ください。



編集後記
6月の誕生花をご存じでしょうか？6月の誕生花は薔薇です。愛の象徴ともされる薔薇の花言葉は「愛」だけだと思っていませんか？実は薔薇の花言葉はその本数や色、部分、状態や組み合わせによっても変わります。薔薇の本当の花言葉を考えながら、大切な人へプレゼントしてみたいかがでしょうか。